

歩行器・歩行車

の使い分けについてのポイント

ケガや病気になる前の生活に戻る為のリハビリの一つ、歩行訓練。歩行訓練によって状態が回復すると、自立した日常生活を送ることも可能になってきます。そこで目的と体の状態によって、歩行器か歩行車かの使い分けが必要になってくるそうです。



歩行訓練時には **歩行器** を

上に持ち上げ、前に置き、脚を前に出す、という使い方の歩行器。4つの足で安定感があるため、立ち上がりの補助としても使用できるそうです。軽量で持ち運びもしやすいです。

おすすめの
歩行器

ユーバ産業

伸縮歩行器
スライドフィット



品番：RH-0188
TAISコード：01096-000005

自分の体に調節可能

- 幅は4段階に、高さは8段階に調節可能
- スライドロックが簡単に外れないためのロック付き
- グリップは取り替え可能

日常生活には **歩行車** を

歩行車は主に、前輪は自在輪、後輪は固定輪となっており、軽く押しながら歩行することができると言われています。構造は、体を歩行車の中に入れられるようなタイプになっているそうです。また、タイヤに負荷がかかると車輪を抑制できるブレーキが利く歩行車もあるそうです。

おすすめの
歩行車

ナブテスコ
コンパル



品番：RCONPAL
TAISコード：00025-000022

屋内外で使用可能

- 歩行が不安定な方にオススメ
- 歩行速度に応じて自動的にブレーキが働いて減速
- グリップの高さは78～100cmまで調節可能

事業所No:4372300915

有限会社ひまわり
TEL0964-32-2213

宇城店：熊本県宇城市松橋町東松崎602
大津店：熊本県菊池郡大津町中島99-1
<https://himawari-kumamon.com/>